

## いじめについて子どもと大人で考えたよ!～人権週間「市民の集い」に参加して その2～

12月の「市民の集い」では、「いじめ」をテーマにした映画鑑賞の後、シンポジウムが行われました。映画パブリシストの岸野令子<sup>さしのれいこ</sup>さん、せんなん子ども会議のメンバー、そして会場からも質問をいただき、活発な意見交換が行われました。

**【問合せ】** 泉南市子どもの権利に関する条例事務局  
(人権教育課 ☎ 483-3672)

いじめられてしんどい時、  
誰か相談できる友達や大人の人が  
周りにいるといいね。絶対みんな1人では  
ないよ。とにかく声を上げて。助けて  
くれる人が必ずいるから。

いじている人も、  
何か自分の中に不満があるんだと  
思います。だから、その人が持って  
いる苦しみや不満をほぐして  
あげることが必要です。



誰かが1人ぼっちに  
なっていたら、自分から  
その子に話しかけていま  
す。その子が学校に来た  
くないという気持ちにな  
らないようにしています。

先生や周りの大人には、  
子どもの意見をもっと  
聞いてほしい。子どもの  
気持ちに気付いて、話す  
きっかけを作ってくれる  
とうれしい。



いじめが起きていること  
に大人がすぐに気付くことは  
難しいと思います。見たら止  
めることも大事。我慢は絶対  
にダメ。

### ～参加者の感想～

▽子どもが活躍できる場となり、とてもすてきでした。ディスカッションでは、子どもの意見が聞けて良かった。子どもたちの力強い言葉や笑顔で話をしている場面、良かったですね。▽子どもたちがしっかり意見を述べているのを見て、希望を感じました。